

年代	主な出来事	土地利用	下水道整備や 水質保全対策など	宍道湖・大橋川の水環境やその変化				
				流れや湖底	水質	プランクトン	海藻類	魚介類
明治 M34 M39	大橋川航路浚渫完了 16)							
大正	東宮大橋川浚渫(T5-9) 16) 境港築堤事業(T5-T14) 16)	T2 白濁埋立完了 16) T10 末次埋立第二工完了 16)		S3-宍道湖へ 海水通上が顕著2)	塩分濃度上昇2)			
昭和 S3 S4 S7 S8-9								
	S10 安来港築修 S14 大橋川改修工事終了(T13-S14)	中海・宍道湖では、江戸時代から新田開発を目的とした干拓が延々と行われてきた。生活道路でもある湖岸道路の建設もあり、近世末頃には自然湖岸がかなり少なくなった。 4)			塩分濃度上昇で農業用水として使用不可16)	淡水水草枯死4)	S77カサギ 豊漁8) S16サミの 漁獲増大 8)	
昭和20年	S22 島根県議会「国営干拓埋立事業実施」の採択 S26 島田地区代行干拓事業の着工 S27 江島代行干拓事業の着工		戦前まで、海藻は肥料に利用し、し尿は田畑に還元する社会的な仕組みがあった。昭和30年前後から化学肥料の使用や農業使用が増えたため、海藻の採取がなくなる一方で、し尿処理が追いつかず、一部のし尿を中海に投棄する事態に追い込まれる。			西岸部にヨシ・マコモ群落繁茂4)		
昭和30年	S29 斐伊川・宍道湖・中海総合開発計画 中海遊泳禁止 S34 宍道湖遊泳禁止 2) S37 中海干拓事業全体計画の策定 S38 中海干拓事務所の開設		し尿処理が追いつかず一部中海へし尿投棄2)	湖底は砂まじりの泥4)	大腸菌数増え2) S35 T-N0.17mg/L 2)	北岸にヨシ、大橋川河口にコアモ群落 5)	西岸域アマギ、シロガが豊漁4)	
昭和40年	S42 漁業補償の受給 S43 中海干拓事業着工 境水道掘削 S44中浦水道掘削開始 16)	S39中海埋立・松江市富士見町の誕生 S41中海埋立・安来市中海町の誕生 S42宍道町の干拓地昭和町の新田の誕生 S43宍道湖北岸長江海埋立完成 S44中海埋立・安来市新十神町の誕生 S45中海埋立・松江市本庄町の誕生 S46中海埋立・安来市南十神町の誕生	S45島根県公害防止条例の施行 S47環境基準類型指定(中海) S48環境基準類型指定(宍道湖・斐伊川) 上乗せ排水基準指定			水辺の沈水植物が少なくなる4)	S45貝類・魚類のへい死 10) ワトシミ漁獲最大1.9万t 4)	
昭和50年	S49 中浦水門の完成 宍道湖北岸の護岸整備(道路) S53 大海崎堤防の完成 S54 江島堤防の完成 S56 森山堤防の完成 S59 湖沼水質保全特別措置法の制定	S50 損屋工区が干陸化 S51中海埋立・安来市内浜の誕生 S52中海埋立・松江市野原町の誕生 S53中海埋立・恵乃島町の誕生 S56東部浄化センター処理開始(松江市) S57中海埋立・安来市亀島町の誕生 S58中海埋立・安来町字外浜等の誕生	S50米子市公共下水道処理開始 S56東部浄化センター処理開始(松江市) S58中海・宍道湖水質管理計画(島根県) S58東出雲町下水道供用開始	S48 9月高塩分(上層17psu) S53 9月高塩分(上層9psu) S57 8月T-P高濃度(下層0.3mg/L) S59 11月高塩分(上層9psu)		S54 赤潮発生 S56 アオコ大発生 15) 以降アオコが度々発生 15)	S53フナへい死 15) S56ボラフナへい死 15)	S59ワカサギの大量死 10)
昭和60年	S61 出雲空港滑走路延長工事着工 S63 中海淡水化事業の延期 本庄工区の工事中断決定		S60中海浄化浚渫着手(米子湾:建設省) S61中海・宍道湖N、P環境基準類型指定 S61八束町、玉湯町下水道供用開始 S63安来市下水道供用開始 H1西部浄化センター処理開始(1市2町) H1中海・宍道湖指定湖沼 H2第1期湖沼水質保全計画の策定			赤潮の発生	湖岸植生が高度成長期にも激減 S28: 9.7km H8: 3.1km	
平成元年	水質汚濁防止連絡協議会の発足 H3 本庄工区の工事凍結 H3 米子空港滑走路延長工事着工	H1 安来工区の完成 H4 彦名工区の完成	H7第2期湖沼水質保全計画の策定 H10中海浄化浚渫完了(米子湾100万m3:建設省) H10木次・三刀屋浄化センター供用開始 H12八雲町下水道供用開始 H12第3期湖沼水質保全計画の策定 H13広瀬町下水道供用開始 H14米子市公共下水道で高度処理の導入 H17第4期湖沼水質保全計画の策定 H22第5期湖沼水質保全計画の策定	H6 9月 - 高塩分(上層9-10psu) H12 9月高塩分(上層10psu) H14 9月 - 高塩分(上層10psu)		H6冬赤潮の発生3)		H8 コノロ大量死 H9 サミ大量死 H11,12 コノロ大量死 H12 穴' 斃死 H21 コノロ大量死
平成10年	H12 中海干拓事業の中止決定 H14 淡水化事業の中止決定 H17 ラムサール条約に登録 H22 汽水汚濁メカニズム解明調査WG開催	H21 中浦水門撤去完了 H21 森山堤防閉鎖						
出典	1)岸岡 務「潟湖の汚濁(中海の生態学的長期研究)1975. 技研出版株式会社 2)橋谷 博「源五郎の宍道湖・中海だより」, 98年7号 - 99年7号 3)湖を語る(中海・宍道湖の調査研究に携わる学識経験者・研究者43名の意見など)1998(H10)4.9-1999(H11)6.1. 朝日新聞の特集記事 4)独立行政法人「土木研究所」中海・宍道湖自然湖岸再生計画基礎調査業務報告書 平成15年2月……………主な出来事、土地利用の典拠 5)宮地依三郎「中海干拓・淡水化事業に伴う魚族生態調査報告」1962年3月 6)平成7年度島根県水産試験事業報告(中海藻場生態状況調査) 7)下水道統計など……………下水道整備の典拠 16)中海・宍道湖の100年間の開発・利用及び環境変化-20世紀から21世紀へのメッセージ-講演資料集 1999.5.29-30			8)島谷幸広「大正・昭和初期の大橋川改修による宍道湖の環境変化と住民の共生過程」 9)中国四国農政局「水産調査の結果について」, 1999 10)保母武彦「宍道湖物語」藤原書店 11)越川敬樹「中海における魚介類の生息状況の変遷 2002 ホンザキグリーン財団研究報告第4号 12)越川敬樹「中海の魚類 1986 島根野性研究会No.4 13)大谷修二「宍道湖・中海の藻類 1996 14)出雲工務事務所調べ 1980 15)斐伊川誌 出雲工務事務所 1995				